

科目名	公衆衛生看護学特別研究 Research Project in Public Health Nursing		担当教員 (研究室番号)	大越 扶貴 (405)		教員への連絡方法 (メールアドレス)						
履修 年次	1年次 2年次	科目 区分	専門科目		選択 区分	領域 必修	単位数 (時間)	12(180)	授業 形態	特別研究	科目等 履修生	否
											遠隔授業	否
科目 目的	公衆衛生看護学（在宅看護学）の特論・演習を踏まえ、研究課題に沿って、公衆衛生看護（在宅看護）活動の充実・発展に向けた理論を創造する。											
到達 目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 自己の研究課題を明確にする。 2. 研究課題に沿った研究計画書を作成し、課題に応じたデータ収集および分析を行い、得られたデータに基づいて検討・考察し修士論文を作成する。 3. 修士論文発表会と審査会においてプレゼンテーションおよび討議ができる。 											
成績評価方法 (基準)	研究過程および修士論文内容・成果、修士論文発表会のプレゼンテーション内容による総合評価。											
教科書	特に指定しない											
参考書等	随時紹介する											
受講者への メッセージ	自らのテーマを探究する姿勢をもって臨んでください。 社会人学生においては、研究と仕事のバランスを取りながら、計画的に遂行して下さい。											
備考												
学 習 内 容												
<p>《1年次前期》</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 公衆衛生看護/在宅看護学領域の重要な課題のうち、自己の関心のあるテーマについて国内外の文献検索および先行研究のクリティックを行う。先行研究のクリティックの結果のレビューを行い、テーマに関して明らかになっていること、なっていないことを整理し資料化する。 2 1の作業およびディスカッションを通して、研究に対する問いを深め、自己の問題意識を明確にし研究課題を明らかにする。また、研究課題の看護学における価値と意義について十分に検討する。 3 量的研究・質的研究などの研究方法を概観し、自己の研究課題を探究するために適切な研究手法を特定し、その研究手法に関して学ぶ。 <p>《1年次後期》</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 文献検討と研究デザインを基に研究計画書を作成し、中間審査を受ける。研究計画書は、研究課題の意義と重要度、先行研究との関連性について一貫性のある論旨を展開する。また、研究方法選定に関しては、選定理由を明確にしておく。 2 研究に関する倫理指針を網羅的に読み、研究遂行上の倫理上の課題を明らかにする。その上で適切な倫理的配慮を考える。また、研究倫理について審査を受けるための手続きを学び、書類を作成する。 <p>《2年次前期》</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 研究計画に従って、データ収集および分析を行う。 2 得られた結果を適切な表現および表記でまとめ、データ分析の中間報告を行う。 <p>《2年次後期》</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 得られた結果を先行研究を参考に論理的に考察し、研究の意義と今後の課題を明確にした上で、修士論文を作成する。 2 修士論文発表会と最終試験においてプレゼンテーションおよび討議を行う。 <p>上記の学習プロセスを通して、研究者として必要な基礎的研究能力および研究への姿勢を養う。</p>												